

# 新しい風を

一中の原動力は委員会活動にある!

委員会ではイベントの企画から運営までを  
生徒が自主的・主体的に行っています。

全校生徒が一丸となって企画を盛り上げます。

## 専門委員会

各委員会に分かれ、学校生活における課題や解決策についての議論、イベントの企画等を行います。

## 中央委員会

一中の最高意思決定機関。  
各委員長が集結し、専門委員会で議論した内容の報告と質疑応答を行います。

## 生徒会朝礼

生徒会を中心に、専門委員会と中央委員会で決定したこと(イベント等)を全校生徒に周知します。

## 全校生徒

委員会が企画したイベントを全校生徒で協力して実施し、活気ある一中づくりを推進します。



生徒会長  
しらかわ まさと  
白川 真聖さん



1年学年委員長  
ありが れん  
有賀 蓮さん



2年学年委員長  
よした れんし  
吉田 蓮士さん



3年学年委員長  
なかむら ななみ  
中村 菜々美さん



美化委員長  
しらかわ みよみ  
白川 聖深さん



図書委員長  
かねおき みか  
金行 美香さん



体育委員長  
とよだ しんぺい  
豊田 隼平さん



報道委員長  
さいとう ななみ  
佐藤 七海さん



保健給食委員長  
はしもと はるき  
橋本 悠希さん

## 新旧生徒会長に聞く

中央委員会の中心、それが生徒会。全校生徒による選挙により選出された生徒会長以下、5人の役員で構成されている。(平成31年3月現在)

現会長の2年 白川真聖さんと前会長の3年 牧野莉子さんが一中への想いを語った。



左から桑原先生、牧野さん、白川さん、河埜先生

「先生との距離が近く、生徒の提案した企画にアドバイスをくれたり、サポートをしてくれます。(白川)」

## 図書委員会 ~クリスマス会~

専門委員会は、各学年を代表する学年委員会と体育・報道など各分野の委員会、それらを束ねる生徒会の合計9つの委員会から組織されている。

今回は専門委員会の1つである図書委員会  
が主催するクリスマス会に密着した。



真剣に準備する図書委員



クリスマス会プログラム

**牧野さん(前会長。以下「牧」):**委員会活動はすべて生徒が主体となって企画、運営、実行しています。一中の良いところは、目標があるとひとつになれるところですね。

**白川さん(現会長。以下「白」):**確かにイベントになるとどのクラスも全力でひとつの目標に向かって団結します。そう考えると、一中全体としても団結できてるんですが、生徒会はその大きな役割を担っていると思います。生徒会活動は校内にとどまらず、地域の児童館の愛称を決めたんですね。

**牧:**校長先生から「平成31年4月に開館する北部児童館の愛称を決めてほしい」という話を受け、全校生徒を巻き込むことにしました。まず名称を募集し、候補をしぼって全校生徒を対象にアンケートをとったんですが、最後の2つが僅差になってしまい、一度生徒会に持ち帰りました。全員で真剣に議論し、すでにある名前と被らないこと、親しみやすく小さい子どもでも言いやすいこと、という観点で最終的には「こまっこ」に決めました。

**白:**牧野先輩を見ていて、生徒会長は全

校生徒の前で話すことも多く、仕事量が多くて大変だろうなあと感じていました。

**牧:**生徒会活動はとにかく楽しかったです。迷ったときは必ず話し合い、仲間と練り合ってひとつのものをつくることで、自分の成長につながりました。特に力を入れたのは「ホワイトリボン運動」といういじめ撲滅運動です。「いじめを世の中からなくしたい」という先輩の想いから始まった、一中独自の活動です。歴代の先輩方の想いを途絶えさせたくなかったんですが、目に見える形にするのが難しく…。白川さんや後輩の皆さんにも、地域を超えてもっとこの活動を広めてほしいです。

**白:**私の生徒会長としての活動方針は「新しい風を!」です。新しいことに挑戦するのはもちろん、これまでの伝統にもうひとつ手間加



えたいんです。良いものを受け継ぎ、更に良くて次の代に引き継いでいくことが目標です。そのためには、生徒の皆さんのこうやってほしいという声が生徒会にもっと届けばいいと思っています。

**牧:**みんなの意見が届いて、生徒会が引張って行く。でも、生徒会が独立して権力を持つのではなく、学校としてひとつになってどんな些細なことでも取り組めるようになってもらいたいです。

**白:**一中の伝統と聞くと「八郎\*」を思い出します。ひとりが仲間のために、自分のできることを精一杯やる、というこの民話の教えが、一中の校風にもつながっている気がします。

\*東北地方に伝わる民話で、主人公の八郎が水害から村人を救ったとされる。一中ではこの八郎の精神を以前から大切にしている。



クリスマス会は生徒誰でも参加可能な一大イベントです。当日に向けて、図書委員は全員で話し合いながら内容を決め、美術部と協力しすべて手作りで準備しました。

本番をむかえ、会場となった図書室は生徒と先生でにぎわい、入りきらないほどの参加者が集まりました。

プログラムは、司書の<sup>しほみや</sup>芝宮さんの本紹介、文芸部の部誌紹介、紙芝居、クイズ大会、ビンゴゲームと続き、丸田先生がマジックを披露。最後に、有志の先生たちが踊りつきで合唱すると、一番の盛り上がりとなり、みんな笑顔でクリスマス会を終えました。



クリスマスにちなんだ紙芝居の披露



ビンゴ大会を楽しむ参加者



丸田先生の不思議なショー



先生方によるパフォーマンス